

# 知事公館でのプレゼンテーション そして辻副知事の遺愛訪問

8月28日（月）に札幌の知事公館で、高橋はるみ知事・辻泰弘副知事の前で、『遺愛の中高一貫教育について』プレゼンテーションする機会が与えられました。知事が北海道の私学の現状をもっと知りたいということで、催されたそうです。私学からは、部活動の盛んな札幌山の手高校、資格教育が充実している旭川実業高校と遺愛が紹介することになりました。

当日は、10分程度パワーポイントで紹介することになりました。まず遺愛の歩み、築109年の本館、一貫教育の3つの柱である「キリスト教教育、グローバル教育、英数先取り教育」について説明しました。その教育成果としての中学3年生の全国学力調査の結果（2016年度は全国のトップ県より国語・数学の平均で7.25ポイント高かったことを紹介。最新の2017年度では10ポイント高くなっています。）や英語検定合格状況は遺愛中3生の約3分の1が英検2級に合格し、準2級は90%以上、3級は100%合格している現状を報告しました。

また、東大・京大・北大・国公立大医学部への進路実績、ほとんどの部活が全道大会に出場する生徒の活動、ボランティア活動、満足度の高い遺愛独自の行事についてもふれました。特に吹奏楽局の躍進については興味をもって耳を傾けてくれました。

最後に、私立中学校に在籍する低所得層への北海道独自の支援のお願い、都市部では私立高校をいかす方が、北海道にとっては財政的メリットがあることをお話し、ぜひ一度、知事・副知事に遺愛に来校してくださることをお願いしました。

すると北海道の方も早速動いて下さり、辻副知事が9月1日に来校し、生徒との交流の機会を持ってくださいました。また今後、知事の来校の可能性もあるようです。速やかな対応に、心から感謝しています。



知事公館



辻副知事との懇談

8月28日（月）